

令和7年度 鵜沼第一小学校 学校経営の全体構想

<目指す子供像>

新しい時代に対応し、よりよく生きるための基礎力を身に付けた児童

- 目標達成に向け計画性をもって粘り強く取り組む力
- 相互理解に努め、対人関係を調整し、集団の中で自分のよさを発揮する力
- 新しい知識や技能、見方・考え方を積極的に身に付け、それを活用しようとする力
- 獲得した知識や情報を活用し、考えたり表現したりして、仲間と共に課題を解決する力

<自主性・自律性・協同性を育む教育活動の創造>

1. 仲間とともに学び合う授業づくり

- ①「できた、分かった、楽しかった」を実感
 - ・終末での児童の姿の明確化
 - ・交流活動の工夫
 - ・まとめ、振り返りの場の設定

- ②よりよいinputのために最適化された豊かなoutput活動のある授業デザインの創造
 - ・ICT活用によるinputの効率化とoutputの多様化、個性化
 - ・outputに比重を置いた一単位時間の構成

2. 当事者意識をもち、自己有用感が高まる学級・学校づくり

- ①「貢献」と「承認」を実感できる日常活動の充実
 - ・相互評価によるよさの価値付け
 - ・ボランティア活動の推進
- ②「達成感」と「存在感」を味わえる活動の工夫
 - ・企画を楽しむキャンペーン活動の充実
 - ・組織を活かした活動づくり

3. 健康で安心・安全な生活づくり

- ①一人一人に居場所がある学級経営
 - ・いじめ未然防止と教育相談の充実
 - ・関係機関との連携によるケース会議の充実
- ②健康的な生活を築く力の育成
 - ・歯科保健教育の推進
 - ・進んで楽しめる運動遊びの充実

<各務原市の教育> 誇り・やさしさ・活力のある児童
～一人一人が学ぶ喜びを実感～
・たくましく生き抜く力の育成 ・安心して学べる教育環境の提供

<学校の教育目標>

誇りをもって 進んでやりぬく子

よく学ぶ子 心のやさしい子 体のじょうぶな子

<学校課題>

- 自他の違いを理解し、よさを認め合い、互いに尊重し合う人間関係づくり
- 持続可能な社会の創り手として、主体的に粘り強く学び続ける児童の育成
- 保護者・地域の方との育てたい子供像の共有と、連携・協力した教育活動の推進

<地域と共にある学校づくり>

1. 「うちゅうつながる学園」のシンカ・カイゼン

- ①校区小中学校との連携強化
 - ・生活習慣、学習習慣の基盤づくり
 - ・オンラインを活用した交流活動
- ②地域組織との連携強化
 - ・「あいさつ」を核としたかわりづくり
 - ・資料館をハブとしたふるさと教育の推進
 - ・防犯、防災体制の構築

2. 地域、保護者の活力の導入と学びの発信

- ①学校支援ボランティアの拡充
 - ・地域人の特技や専門性を発揮する場の提供
 - ・安心して学べる環境整備支援
- ②学びの成果を地域へ発信する活動の推進
 - ・児童による社会貢献活動（地域ボランティア活動）の場の設定

3. 学校評価の質の向上

- ・学校と地域が連携した、PDCAサイクルの確立

<目指す教師像>

組織力・機動力・自己啓発

- 人権感覚を磨き続ける教師
- よく工夫し、わかりやすい授業をする教師
- 意識を高くもち、指導力向上に努める教師
- 家庭、地域との連携を大切にする教師
- 職員集団の和を大切にする教師
- 心と体にゆとりをもって子どもに向かう教師

<対応力の高い自律型組織運営の実現>

1. 職員個々の対応力向上

- ①職員個々のスキルアップ
 - ・教育公務員としての専門性の錬磨
 - ・ICTを活用した新しい教育技術の習得活用
 - ・根拠に基づいた共通行動の徹底
ねらいや願いの共有
法令の遵守
- ②情報の共有と活用
 - ・事後検証の重視
成功、失敗事例の経過の可視化と共有
 - ・児童や外部からの視点による想定を重視

2. 自律型組織運営の実現

- ①主体的に考える職員
 - ・危機感の共有（リスク、コスト）
 - ・豊富な経験と得意を活かせる校務分掌
 - ・精度の向上に比重をかけた企画、運営
- ②迅速に動ける仕組み
 - ・サーバントリーダーシップの浸透
 - ・よいと思ったことは「まずやってみる」
 - ・一何の原則の徹底
変化や違和感、危険信号を即時、随時に
・Bad News First/Fastを徹底
- ③改善のための対話と協働
 - ・業務の新しい標準化のための創意工夫
 - ・職員間のよさみつけ